

ダイヤ精機株式会社 会社紹介



本社工場

本 社 : 大田区千鳥2-40-15
矢口工場 : 大田区矢口3-5-11
設 立 : 昭和39年
代 表 者 : 諏訪 貴子
従 業 員 : 30名

■沿革

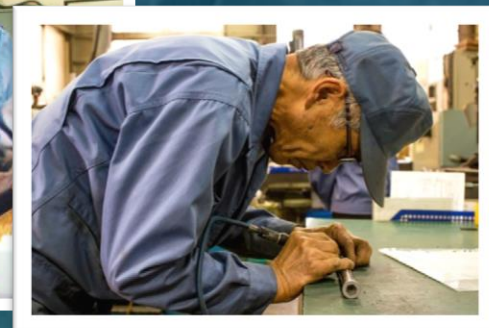
昭和39年8月 大田区矢口にダイヤ精機製作所設立
ゲージ各種精密部品
冷鍛型ピストン型製造販売開始
昭和44年8月 ダイヤ精機株式会社へ組織変更
昭和50年5月 現本社工場建設
昭和56年5月 ダイヤエンジニアリング株式会社設立
昭和61年6月 矢口工場新設

■事業内容

冷温熱鍛造用型・プレス型・治工具・ゲージ・精密部品 設計製作販売



矢口工場



事業承継からの15年

2004年

2007年

2012年

2016年

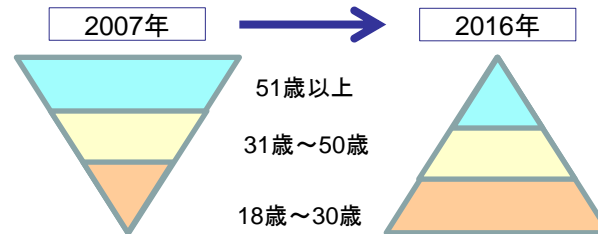
2017年～

経営の安定化

- ・相続関係や金融機関との契約で1年以上
- ・3年の社内改革で基盤強化
- ・新経営体制での企業理念や方針の浸透及び目標設定
- ・新経営者からの実績（現状+ α ）で内外部の承認（金融機関含む）

新規取引先の開拓・組織構造の変革（技術継承）

- ・新規取引先の開拓
- ・新たな領域へのチャレンジ
- ・逆ピラミッドから正ピラミッド構造組織の構築のために人財確保・育成（技術を維持したまま正ピラミッド形成に約10年）



経営の拡大

- ・新しい組織での課題への取り組み
- ・新会社設立
2017年12月
- ・創業チャレンジ
- ・事業承継者が創業する時の支援が必要

社内改革

1年目

意識改革

2年目

チャレンジ

3年目

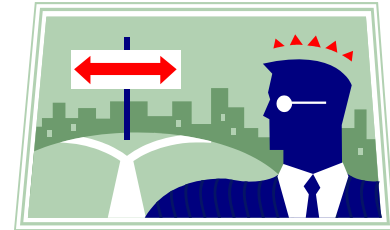
維持継続発展

- 1 ◇社員の意識改革
 - ・OJTを軸とした人材育成により、個々人のレベルアップと社員のモチベーションを向上。
- ◇組織構造の再構築
 - ・トップダウン業務指示組織からボトムアップ化により、意見を集める意見集約型組織の構築。
- 2 ◇設備投資による社内活性化
 - ・生産設備の老朽化に対し、当社の強みを最大限に生かせる設備投資を実施。
 - ・生産性の維持と技術継承を同時進行する教育モデルを確立。
 - ・生産管理システムの全面変更
- 3 ◇維持管理と標準化
 - ・2年間改革の維持に向け、各業務の棚卸しとムダを排除した業務の標準化に着手。
 - ・改善スキルの向上を目的に社内QC活動、発表会を定例化。
 - ・職人と若手社員とのパートナー業務を随時取り入れ、技能継承をマンツーマンで教育。

2代目の経営方針

経営理念

- ◆ ダイヤ精機株式会社は健全な事業活動を通じ、社会、顧客、従業員をはじめ全ての人々を大切にします。



- ◆ ダイヤ精機株式会社は、**ものづくり大田区**を代表する企業となることを目指し信頼ある企業を築くと共に、技術の発展と継承の為日々努力し、良き企業市民として社会に貢献致します。

経営方針

- ◆ ダイヤ精機株式会社は**超精密加工**を得意とする**多能工集団**である

事業承継を促すために必要なこと

支援の周知徹底

M&Aの促進

黒字企業＋黒字企業
黒字企業＋赤字企業



赤字企業＋赤字企業
(金融機関の支援が必要)

経営者のメンタルケアの促進

従業員のメンタルヘルスについて注目され、各企業で取り組みが行われているが、今後事業承継者や女性経営者が増える事が想定されるため、経営者のメンタルケアもしていく必要がある。